



横浜市立岡村小学校・学校だより R2.9.30 学校ホームページURL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

“岡村っ子♥自分づくりパスポート”発行しています。

校長 さいとう ともあつ 齋藤 有厚

前期終業式を迎えようとしています。収束の兆しが見えないコロナ禍の中、文科省等のガイドラインを順守し、通常の学校教育活動へ近づけるための工夫をチーム岡村（教職員集団）で進めてきました。心身ともに経験をしたことがない倦怠感を味わっています。

しかし、頑張っている子どもたち、それを支えている保護者様、ボランティア活動参加の地域の皆様に、エネルギーをいただき、助けていただいています。ありがとうございます。

9月30日から始まる6年、5年の宿泊体験学習を皮切りに、延期してきた学校行事、内容を一部変更して実施を予定します。次頁の「後期の学校行事（案）」をベースに、学校教育活動を計画しています。『コロナに負けない教育活動づくり、学校づくり』には、子どもたちの頑張り、そして、保護者様、ボランティア様や地域の皆様の応援が、益々、必要です。新生活様式の順守や感染症情報の提供等、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いします。

さて、9日（金）、前期終業日に、保護者様へ子どもの「あゆみ」をお渡しします。今年から始まった新学習指導要領の理念等に基づく書式となります。端的に言えば、「あゆみ」を簡略化し、新たに、“岡村っ子♥自分づくりパスポート”を発行する形となります。従来、学期末、年度末にお配りしていた「あゆみ」の役割は、「新あゆみ」とそのパスポートがセットで担うこととなります。パスポートは、「保護者や担任の応援の下、子ども自身が過去・現在・未来の自分を描き綴る記録ファイル（ポートフォリオ）」です。保護者様には、このパスポートに記された子ども自身の振り返り、思いや夢を楽しみにしていただくとともに、その作成への協力をお願いします。但し、4月からの一斉臨時休業等の影響もあり、保護者の皆様には、12月の個人面談の折に、紹介させていただきます。以下に、新しい学校教育の方向性の中でのパスポートの位置付けについて、私なりの言葉でお伝えします。

中央教育審議会答申 H28.12.21、新学習指導要領 H29.3 に脈々と流れる教育理念は、「変化を予想できない近未来に生きる子どもたちに、その時代を生き抜く、切り開く力を育む」ことでした。そこで育む資質・能力は、「生きて働く知識・技能」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等」「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等」と定義されました。さらに、資質・能力を育む方策が、多岐に渡って示されました。例えば、アクティブ・ラーニング（主体的な・対話的な深い学び）の授業づくり、道徳科や外国語科の新設、ICT教育やプログラミング教育の導入、開かれた学校づくり（社会人材の積極的な参画・連携・協働）などです。そして、その一つが、ここで紹介したパスポートです。授業（学習評価も含む）は、教師が子どもに教授するのではなく、友だちと教員と一緒に学び、子ども自身が自己評価しながら、作り上げることが求められています。その目的や振り返りなど記録・蓄積する教材が、パスポートです。パスポートは、小学校から高等学校まで続く、成長履歴（アルバム）となり、キャリア形成（職業選択、生き方探し）を図る貴重な資料となるはずですが、